

【海外拠点の安全・効果的な管理のために】

TMS/ERP導入に際しての  
『銀行接続サポートサービス』のご案内

東京共同会計事務所

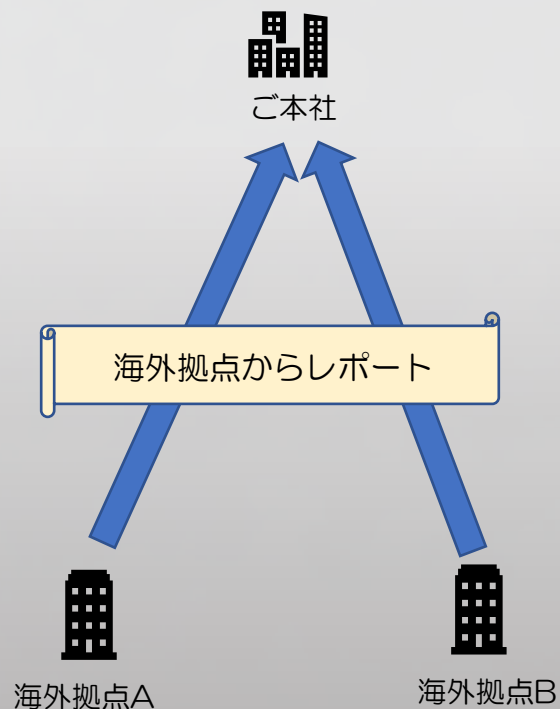
事業開発企画室

齋藤隆之

2022年3月

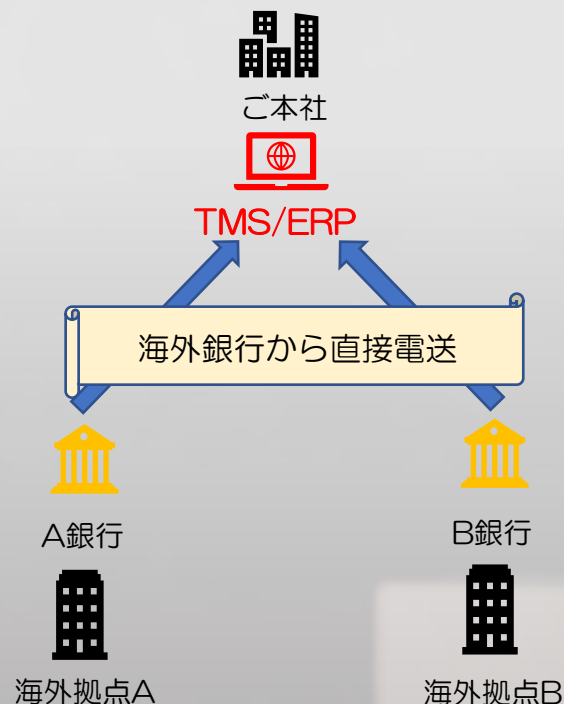
# 【1. 海外拠点管理の高度化について⇒TMS/ERPの活用】

《現地任せ》



【課題】 海外拠点の勝手な判断、間違いの検証ができない、不正が見抜けない

《見える化》



【利点】 海外拠点に対し、本社が見ているという牽制が働く。本社は海外拠点で発生した取引をその日のうちに確認できる。

【課題】 各国の複数銀行（マルチバンク）との情報接続は、手間がかかる

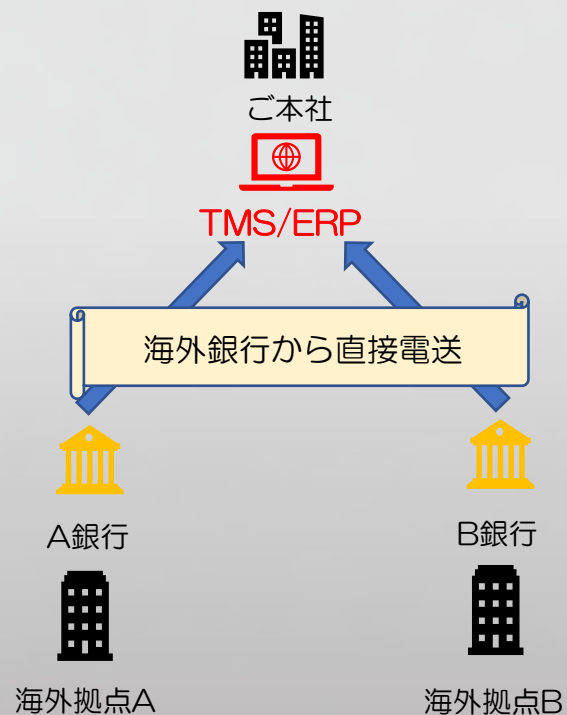
《本社統括》



【利点】 本社が海外拠点の支払を事前にチェックできる

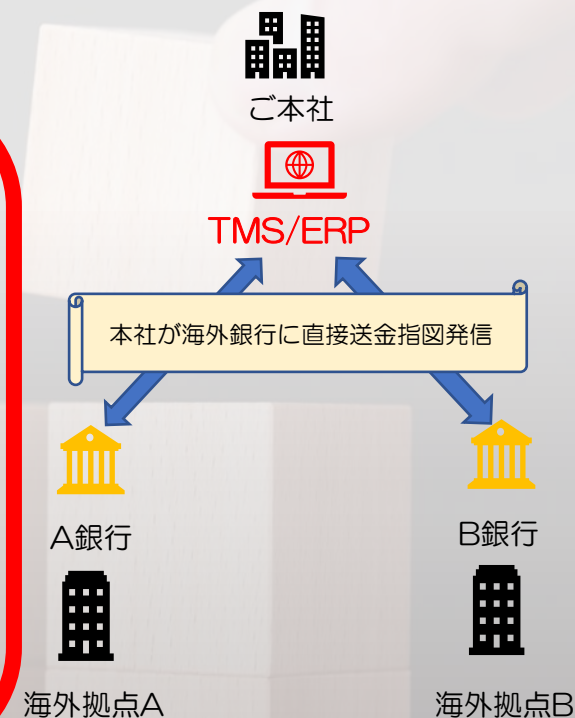
【課題】 TMS/ERP経由のマルチバンク送金は、銀行とのオペレーション契約も必要となり、ハードルが高い。（銀行は基本的にやりたくない）

## 【2. TMS/ERPを正しく稼働させるためには👉導入企業様のタスク】



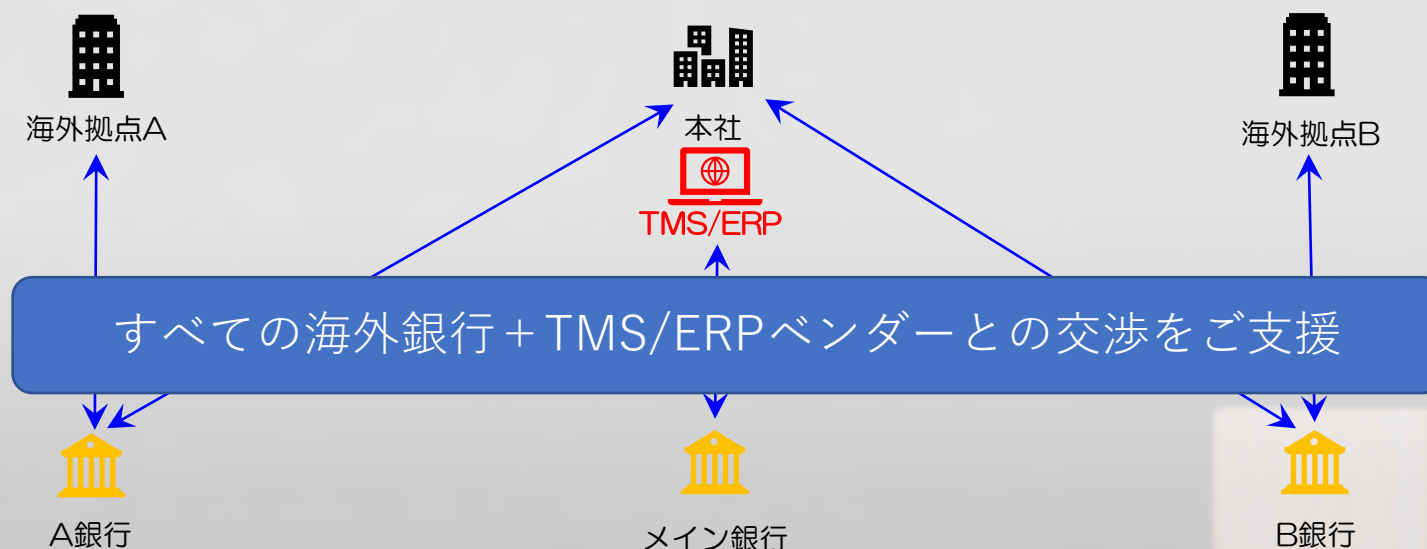
1. TMS/ERPに必要な情報を登録。操作ユーザーは、社内権限に沿った操作権限（口座情報照会、送金指図作成、送金指図承認等）を対象口座ごとに設定

2. 海外拠点が口座を保有する銀行に対して、口座情報をTMS/ERPに対して定期的に（日次が一般的）電子手段で送信するよう依頼（申込書作成、手数料決定）。TMS/ERPベンダーには海外銀行から送信される口座情報の電子データが正しく受信でき、かつ正しく表示されることを確認してもらう。不具合があった場合には、双方に対して原因を究明し（データフォーマットの確認）、可能な対応策を講じてもらう。



- ✓ 上記作業を銀行口座数分だけ行わなければならない
- ✓ 銀行の背景や関連知識・経験がないと、かなり手間がかかってしまう。

### 【3. 銀行内実務の経験者が代行して、前頁の課題解決を行います！】



☞ 口座保有銀行宛てに情報（MT940）発信依頼・契約書（申込書）作成、  
TMS/ERPベンダーとのデータ受信テストを「**全面的にご支援**」いたします。

A. 海外銀行との交渉経験がない、口座開設から始めたい

⇒商流に基づく資金の流れに合わせて口座構成、候補銀行へのRFP/RFI作成・出状、同回答の評価から開始します。

B. 海外銀行との交渉経験はあるが、他の優先順位の高いタスクに集中したい

⇒データ発信のテクニカルなリクエストから開始します。そしてTMS/ERPベンダーとの受信テストにつなげます。

### 【開示事項】

当資料は、情報提供を目的として作成した参考資料であり、特定の商品やサービスの奨励やその勧誘を目的としたものではありません。

当事務所が信頼できると思われる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性及び完全性を保証するものではありません。

当事務所は、当資料に掲載された情報を利用したことにより生じたいかなる損害についても、一切責任を負いません。

当資料に含まれる方法は作成時点のものであり、関連法令の改正によって予告なく変更または廃止することがあります。

当資料に関する著作権は情報提供元のクレジット記載があるものを除きすべて当事務所に属しますので、当事務所の事前の書面による同意を得ることなく資料の複製、転用、再配布等を行うことはできません。